

**Adult
Only**

**Ride on
Shooting Star**





Ride on Shooting Star

前書

どもども、飛田竜夫でございます。
今回はそのこのあのあれ、ライダーさん本ですよ!!
Fate発表当初、眼鏡っ娘がいなくてションボリ
してたのですが、その中でもライダーさんは
初見でいい感じだな、と思ってチェックしていたのですヨ。
そうしていざ蓋を開けてみれば、思ったとおり僕のツボに
はまりまくりなキャラでしてもう大興奮!!
しかもなんと最終的には眼鏡姉さんのにワープ進化ですよ!!
キタキタキターッ!!もう戦いはコレで決まりさですよ!!
超常スマッシュですよ!!おかーさん!!
ハッ!すみません、私としたことが取り乱してしまいました。
まあ、実際にゲーム中で専用ルートがあるわけではないのですが、
そこはそれ、溢れる妄想の出番ですよ。
今回はそんな妄想を形にしてみました。
溢れるエロスは流線型突撃ラブハート!!
もう眠くてわけわかんなくなってきましたが、今回もそんな感じで
よろしく願いいたします。



エミヤ士郎……

サクラは何があっても
彼を守れと言った



彼が生きている
ことがサクラに
とって救いと
いうのであれば

やはりどこかで
彼なら自分を救って
くれるかもしれない
という気持ちがある
からだろうか……



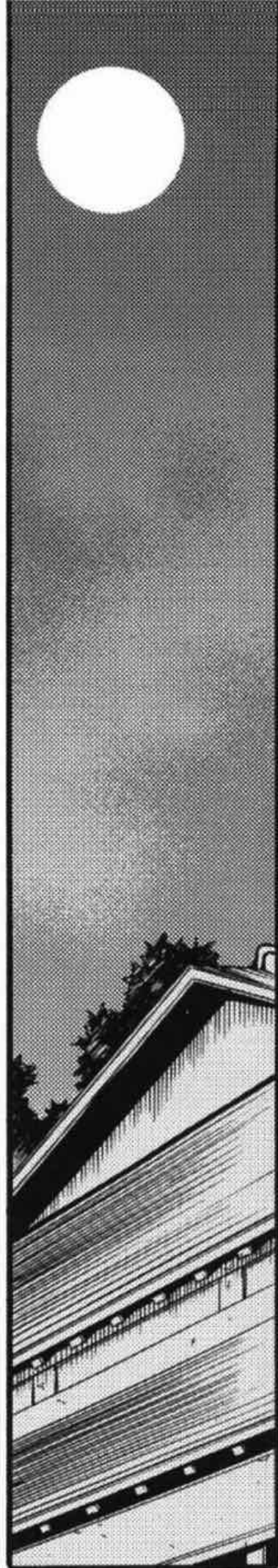
ぐっ……ぐあああ



これから起こることは
全てサクラのため……



そう……
彼はサクラに
必要な人だ





……
ラ、ライダー？



ハア
ハア
士郎……
大丈夫ですか？



随分うなされていた
ようですが

あ、ああ
大丈夫だ……



やはりその左腕の
影響が大きいの
でしょうか

なあに
たいしたこと……
ないって



な、なんだよ？

私から貴方に
魔力供給すれば
多少はその腕も安定
すると思うのですが
いかがでしょう



……
……士郎
提案があります



そうですね…
令呪もない
貴方とでは

最も効率が良いのは
性交…ということに
なりますね



そいつはありがたい
話だけど…
いったいどうやって…



俺は桜を…っ



そうですね
私とでは不満、と
それならば…

あっ いやっ
決してそういうわけ
ではなくてっ そのっ



それでも良いと？

ですが、このままでは
貴方は自滅…
サクラを救うことすら
ままならないでしょう



…サクラを大事に
思う気持ちは
私も同じですよ…



…令呪無き今も私の
主人はサクラであることに
変わりはありません

ですが、今はサクラを
救うためにも貴方と
一時の契約を結ぶのが
得策と考えます

そのための儀式も
兼ねて…ということ
はどうでしょう



……

わかった…
頼むよ…



はい…

それでは私に
任せてください…



そこにそれ以外の
要因はない…
そのはずだ



そう…私の目的は
あくまでサクラの守護…

これはそのために
必要なことなのだ…



…少し後ろを
向いていて
いただけれますか？

あ、ああ



なら今の私の
この昂ぶりは

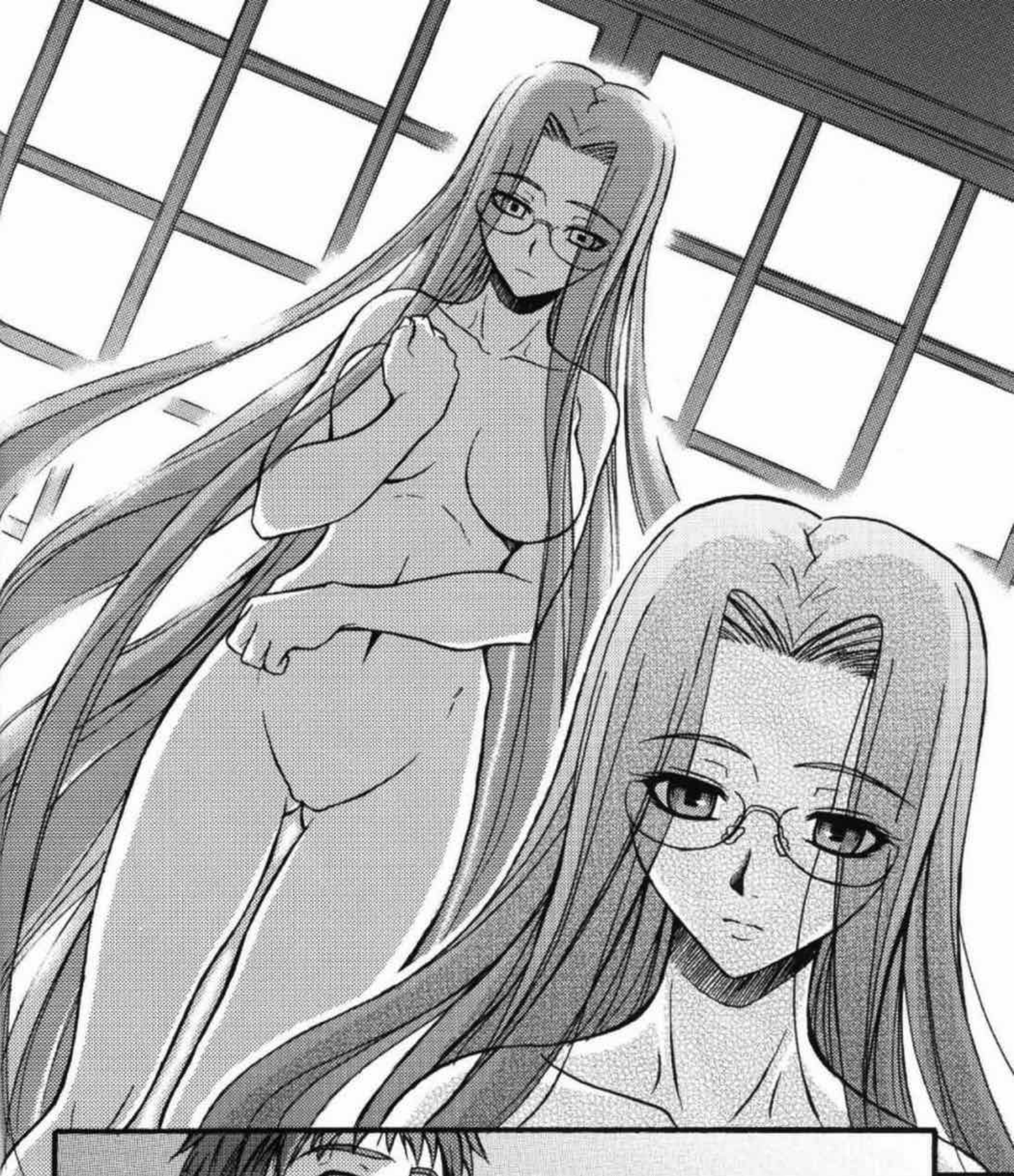
トクミン

いったい何だと
いうのだらう—

イクミン



……
お待たせしました
どうぞこちらを…





綺麗…ですか？



…どうしました？

いや…
その、あんまりにも
綺麗だったんで
つい固まっちゃった



そんなことないって
その眼鏡だって
似合ってるぜ？

そ、そうですか
ありがとうございます
ごめいませす

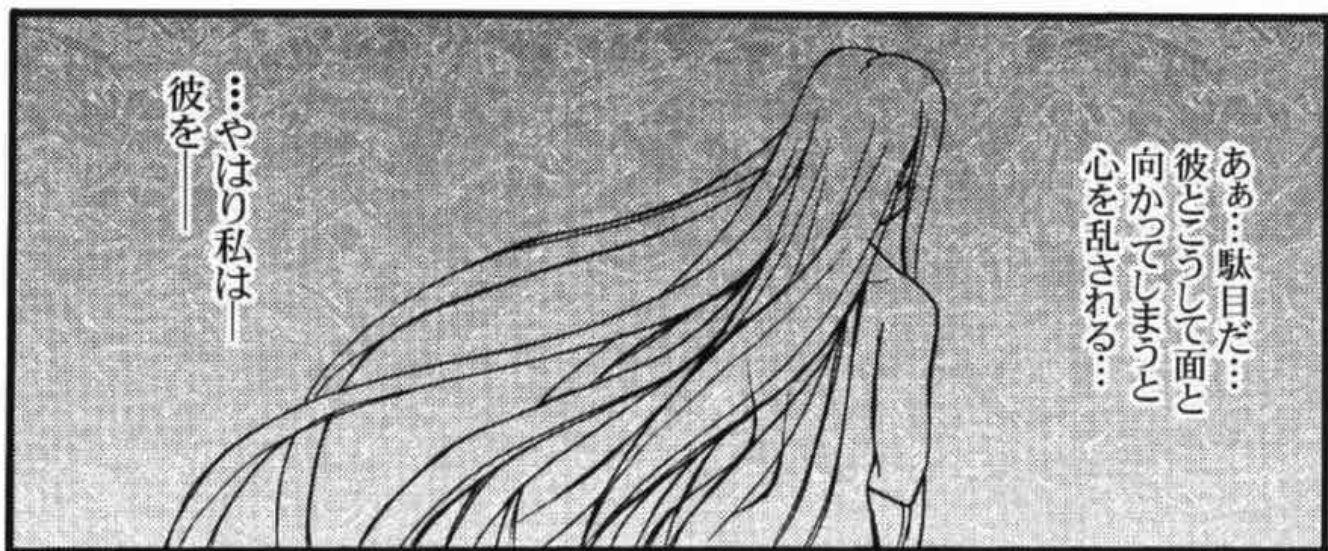


こうして魔眼殺しの
眼鏡をつけていないと
直接向かい合うことも
出来ないのですよ？

背も高いですし
見苦しいだけでしよう…



しかし今まで
わかんなかったけど
こうして見ると
ライダーって意外と
顔に出るタイプ？



ピチャ

ピチャ



チュウ

チュウ



一度
出しておきますか…？

このまま挿入しても
良いかもしれませんが…

えっ…？

しゅっ

しゅっ



…すごいですね
士郎のここ…
もうこんな
猛つてますよ

あああ…

判



ラ、ライダー？
何もそこまで
しなくても…っ



この行為に
没頭しているのは
それを隠すためか
それとも

今…私は回にじでは
ならないことを
回走ってしまった…

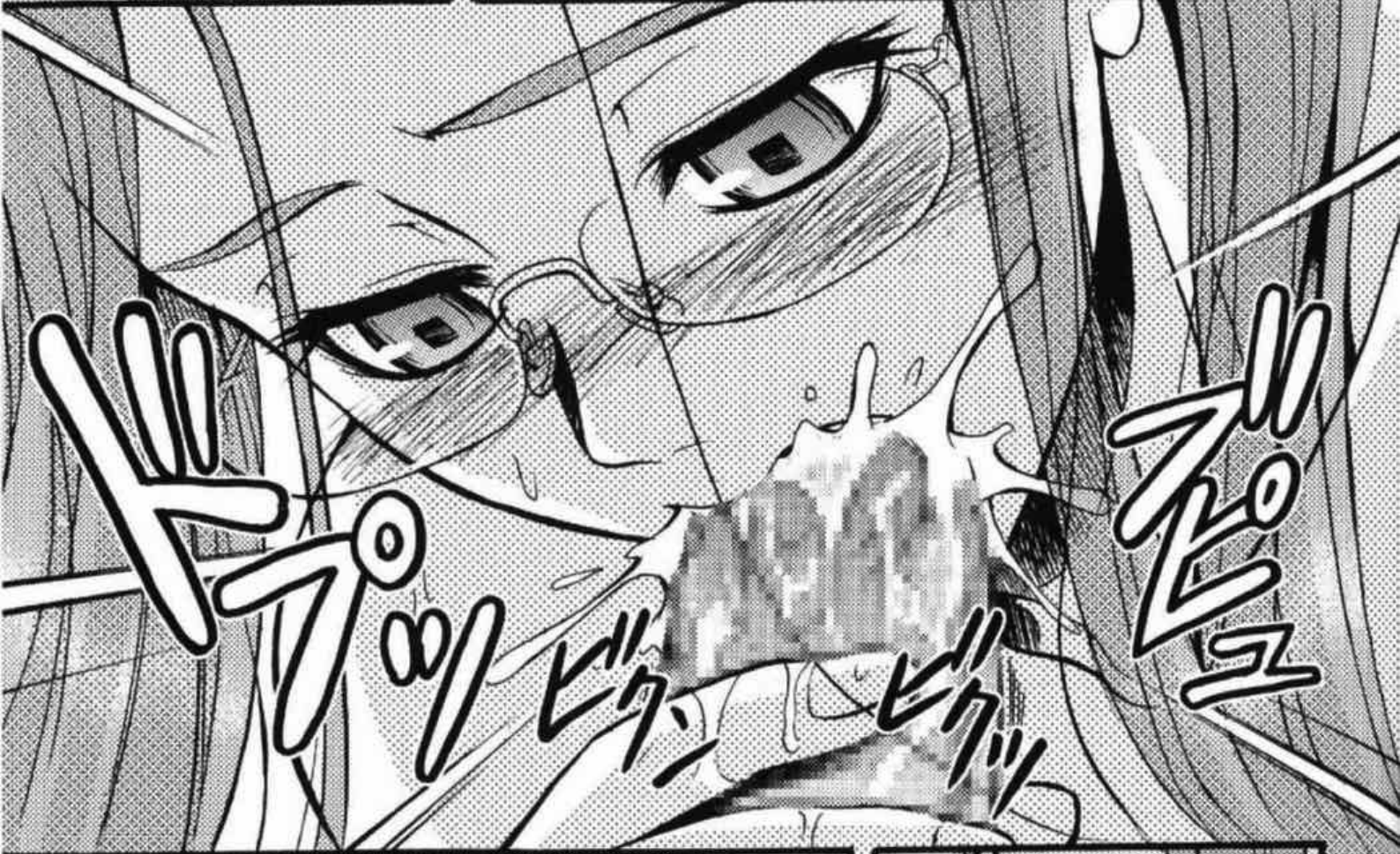


気にしないでください…

これは私の意志で
していることですから…



あつ ああつ
もう…っ でっ出るっ！



…これが
士郎の魔力…

なるほど
貴方らしい感じが
します…



ゴクッ



し士郎……？
どうしたのですか？



?!

ガッッ



んんっ……

これは……
あくまでっ 魔力
供給のための……

くちゅっ
くちゅっ



いやなんか
俺ぼっかり気持ち
良くなってるようで
悪いから……

そそんなこと……っ
私には気を
使わなくても……



ライダーは
気持ちよくなるのは
イヤなのか……？

あっ……
そういう……
わけでは……っ

ビクッ



……なんでさっ？

あっ んんっ
だ……っダメです
士郎…… んああっ

フクッ

パチッ

クチュ

ビクッ

ビクッ



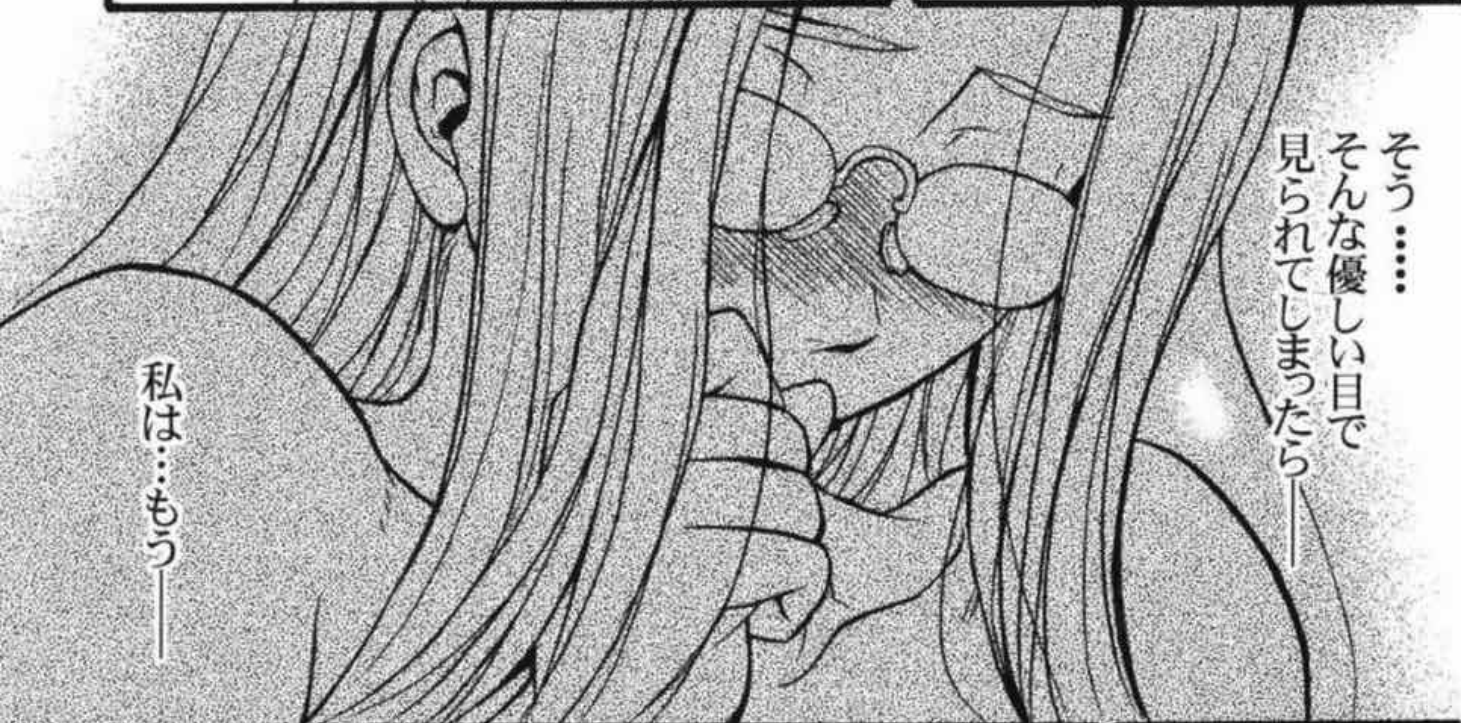
そうかな…
今でも十分綺麗
だと思っけどな

いやむしろ
可愛いかな



その…

乱れてしまう
ところを
見られるのは…



そう…
そんな優しい目で
見られてしまったら—

私は…もう—



……士郎

それではそろそろ
こちらの方に
お願いします…

抑えきれない—



はあ……っ 感じますか
私の……魔力のっ
流れを……っんっ

ふああっ

ああ……感じるよ……っ
暖かくて……
優しい感じ……だ……っ



私もいつの間にか
彼を好いてしまっていた



以前彼に
私はサクラと似ていると
言った事があるが
まったくもってそのとおりだ…



いつだいつから
それすらももう
わからない



…だが私はサクラを
守らなければいけない

今の私の気持ちは
サクラを傷つけるだろう…
それは許されぬことだ



ただ今こうして
食欲に体を求めて
しまっているのは
事実なのだ…



俺もう……っ

あっはっとうざっ
私の中……に……っ



んあっああああっ



とろろ
とろろ

だからこれは別れの儀式——



私のこの気持ち
二度と湧き上がらない
ようにするための

ただ二度の夜伽……

これが最初で最後の口づけ——



そして——

士郎……

一度だけ私の—
わがままを
許してください……





腕の調子は
どうですか？

ああ…うん



ずいぶん楽になった

ライダーの
おかげだな

…それは
なによりです…

彼と繋がったことで
分かってしまった



それは彼自身も
わかっているはずなのだ

それなのに
どうして

よしっ なんだかんだで
遠坂も協力してくれる
だろうし、これできつと
桜を救える…っ



想像以上に左腕からの
侵食が激しい

私が魔力を供給した
ところで、時凌ぎに
すぎないのだ

このままでは間違いなく彼は壊れる

どうしてー

そんな顔で笑えるのかー

なっ？

だがこういう人間だからこそサクラも心魅かれたのであろう

まっとりあえず帰ってきたら皆で桜を説教かな

フフ…そうですね

そして…私も…

いや…この思いはもう

…士郎
貴方がいて本当に
良かった

やはり貴方は
サクラに必要な人だ

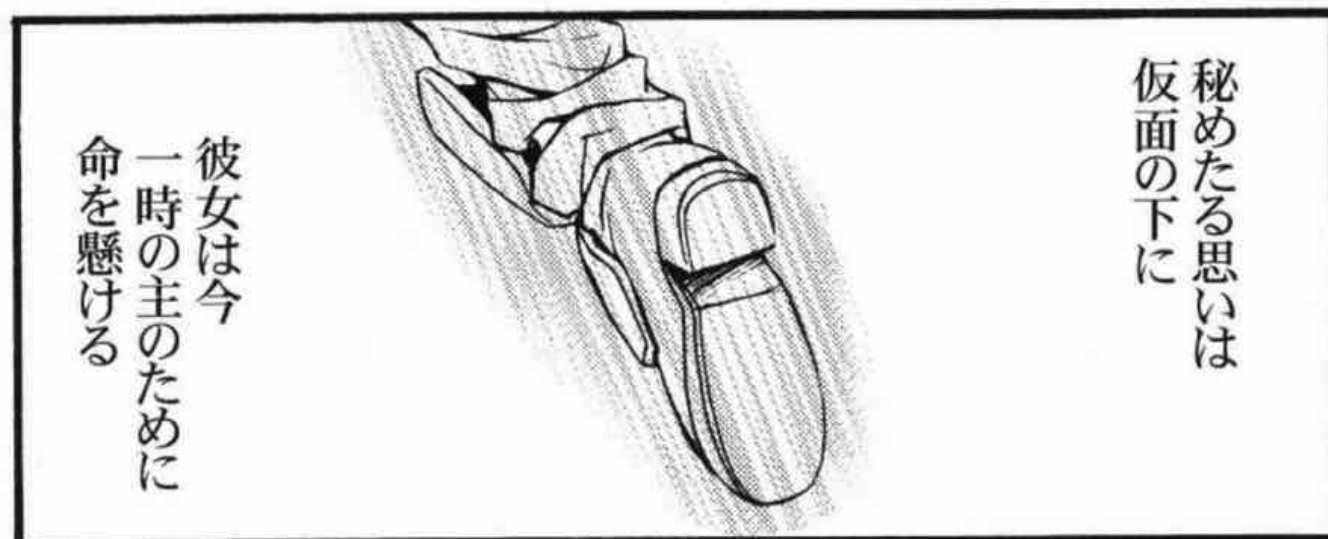
……
いろいろありがとな



…じゃあ
行こうか
ライダー




ええ…
行きましょう
マスター



秘めたる思いは
仮面の下に

彼女は今
一時の主のために
命を懸ける



その姿はあたたかも
天駆ける一筋の流れ星

はい、妄想終了。

ああっすみマセンすみマセン石を投げないでください。
ガンダ撃たないでください。死んじゃうー、わたるがっ。
あくまで妄想なんで許してください、お願いします、すみマセン。

とりあえず桜ルートから派生したら、ということで
考えてみましたが、ライダーさんは桜至上主義な気がするので、
士郎とはくっつけにくい感じですかね…。

かといって慎二とはちょっと…ねえ？
でも意外とそれはそれ、これはこれ、と割り切って士郎と
くっつくような気がしたりしなかったり。

まあ、けっきょくのところは鼻ッから
セイバーじゃなくてライダーさんと契約するってのが、
気兼ねなくねんごろになれていいんですが…。

こうなったらもうファンディスクに期待するしかない!!
いつ出るかいつ出るかと股を濡らしながら待っているので、
どうかよろしくお願いいたします。ムハーツ。

さて、次のページからは超ド級月姫合同誌「ツキヒメゴト」にて
描かせて頂いた漫画の再録でございます。

すでに読まれた方はご存知と思われそうですが、掲載時に
ページ順が間違っって掲載されてしまいました…。
やはり、ちゃんとしたページ順で皆さんに読んでいただきたい
気持ちがありましたので、今回再録許可を頂いて
掲載させていただきました。

こちらも併せて楽しんでいただければ幸いです。





いや、ほら、その
あの時はちよつと
性欲を持て余した
というか…

……



そもそもアナルなんて
普通のプレイに
飽きてからの最後の
手段みたいなもんじゃ
ないですかっ！

それを初っ端から
やってたんじゃ
こんなときにどうする
って言うんですか？



まったく…

ふう

しょうがないですね
遠野君はっ



…なんて
いつもいつも
許してくれると
思ったら…

大間違いですよ…？



えっ？

……



?!



うわっ?
何をするだあーっ?!



ちよ……っ
ちよつと先輩?
なんですかこれはっ?!

シフフフ



そ、相チンですとーっ?!

さーてとっ



正直私も
遠野君の相チンじゃ
満足できなく
なっちゃったん
ですよ

だからたまには
趣向を凝らして
みようかと
思いましたね?



ふふーん

なっ 何をするつもりですか…？



女体盛りならぬ…

男体盛りって
どこですかね？



じゃーん



粗末になんか
しませんよ？

ちゃーんと私が
いただきますから

そういう問題じゃ…

熱——っ？！



ま、まさかっ
そのカレーを俺に
かけるとっ？！

や、止めましようよ
そんなことっ！

っ—か食べ物
粗末にしちや
駄目じゃない
ですかっ？！

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

熱っ熱っ!!
先輩熱いってこれ!!

お、鬼ーっ

大丈夫ですよ
火傷しない程度に
熱いぐらいですから

さーて
それではっ

いただきますーす

れろあ

せ、先輩…っ

ちゅる

ピチャ
ピチャ

んちゅ





ンフフ…
おいしっ

とろろか



ううっ?!
でっ出るう!

どろろ

どろろ



なんかこれ
おかしいですよっ?
なんか盛りましたね?

そうですねよ
特製スパイス入りですっ



あらあら?

いっぱい
いただいちゃったのに
まだこんな元気ですねえ

キーン



ほらっ
そのせいで私の
下の口ももう
こんなに…

遠野君のが食べたたくて
しようがないって
はしたない涎まで
垂らしちゃってます

ぽろ





アナルに指入れられて
感じちゃうなんて
遠野君ったらやっぱり
変態ですねっ！

いやっ そのっ
これは体が勝手にっ？
あああ もうう



あらっ？もう腰が
ひくついてるんじや
ないですかっ？



うわあああーっ？！



ウフフッ
まだまだ
この程度じゃ
終わらせ
ませんからね…

えええーっ?!



いや、まあ、
元々は俺が悪いんで…

ちよつと
やりすぎちゃいましたね
ごめんなさいっ



ううううっ…
もうお婿に行けないっ



…先輩？ なんか
白くてヌメッってした
感じのものが入ってる
ように見えるんだけど？



とりあえずまあ
先輩の機嫌が
治ったんなら
それでいいや…

しかし昨日の
アレのあとにカレーは
正直きついな…
んっ？



あら
ごめんなさいーい

昨日使ったやつ
の残り混ぜたら
遠野君の
精液が入っちゃった
みたいですねえ

機嫌治ってねえ？!

後書

はい、お疲れ様でした。楽しんでいただければ幸いです。
エロ漫画としてちょっと実用度に欠けてる感じかもしれませんが…。
もう少しエロに重点を置いたものもやりたいところですね。

しかし、Fateはどちらかというと「カッコイイ」系のキャラが多いので、
もっとこうカッコよさを前面に押し出したものも描いてみたい
ところではありますなあ。いや、まあカッコイイキャラが時折見せる
可愛さってのがまた萌えるんですが。背が高いのを気にして
固まるライダーさんとかもう可愛すぎハアハア。だ、誰か一つ!!

あとはなんつうかそのあれ、格ゲーとかやってみたいですよな。
ライダーさんはザ○ー1ベースでひとつ。
…スミマセン、さすがにビジュアル的にまんま過ぎました。
とりあえずスピード&テクニカルキャラっぽくなってくれたら嬉しいなあ、
と今から妄想が膨らむのであります。
そのうちメルブラみたいに出てくれるといいなあ。

と妄想をしだすとキリがないのでそろそろお開きにしましょうか。
それでは今回も読んでいただきありがとうございました。
また次回の本でお会いしましょう。

奥付

発行：順風満帆堂

発行日：2004.8.15

印刷：POWER PRINT 様

E@mail hida@mx2.tiki.ne.jp

Web <http://ww2.tiki.ne.jp/~hida/>





順風滿帆堂
PRESENTS